

つちおと

平成30年5月23日発行
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

4/22^① ～南三陸町「ハマレ歌津」1周年記念！～

4月22日、南三陸町のハマレ歌津で1周年記念イベントが開催されました。昨年12月に三陸道歌津インターが開通したこともあり、この1年間で前身である仮設商店街時における入込数の3倍である約30万人がハマレ歌津へ来場しました。当日、飲食店や衣料店等の8店舗が集まる商店街では、特別セールや抽選会が行われるとともに、バンドの演奏や子供たちによるダンスショー等のイベントも行われ、訪れた人々で賑わいました。

また、感謝の意を込めて行われた餅まきにも多くの人が集まり、交流体験施設「かもめ館」2階の眺望のよいテラスでは、海を眺めながらお餅を食べる人々の姿もみられました。

ハマレ歌津では今後、「さんさん商店街」と回遊コースとして連携しながら、交流人口の増加に向けて取り組んでいきたいとのことです。



4/26^② ～ 東団地、中央団地、団地間連絡道等 3 路線開通 ～

4月26日、南三陸町の志津川市街地の高台団地連絡道や低地部からの避難道など、新たに町道3路線が開通しました。

これら道路の開通により、交通渋滞が緩和されるだけでなく、徒歩で団地から買い物や役場・病院等に行く際に歩道を利用することができ、安全・利便性の向上による生活環境の改善が期待されます。

幹線道路が整備されたことにより、今後、沿道商業施設、流通工業施設、水産加工施設等の整備が進められるとともに、観光交流拠点である道の駅、震災復興記念公園、防災対策庁舎連絡歩道橋、松原運動公園の整備が行われる予定です。



4/27(金) ～ 高齢者生活支援施設等「結の里」志津川東団地に完成 ～

4月27日、南三陸町で社会福祉協議会と町が協力して災害公営志津川東住宅の隣りに建設を進めてきた高齢者生活支援施設等の落成式が行われました。

同施設は、木造平屋建て・延べ床面積526m²、要介護者や要支援認定者を受け入れるデイサービス施設と、地域支え合いの拠点となる生活サービス提供施設で構成されています。デイサービス施設には、2つのデイサービスルームのほか、ベツルームのある静養室、車いす対応の機械浴室を完備した浴室、厨房などがあります。生活サービス提供施設には、社会福祉協議会の職員をはじめ、生活援助員、生活支援員が常駐し、町内高齢者の見守り拠点となるほか、生活相談や住民交流施設としての役割も担います。

施設名を公募したところ、町内外から多数応募があり、選考の結果「結の里」に決定しました。

落成式では、世代間交流等を活発にするため災害公営住宅と結の里の間に設けられたウッドデッキで子どもたちによる歌の披露や餅まきが行われ、賑やかな行事となりました。

子供からお年寄りまで利用できる同施設は5月1日から供用が開始されており、今後コミュニティー形成の促進により、直接的な福祉向上以外にも、孤立や生活不活発病の予防に対する効果も期待されます。



4/28(土) ～ 子ども食堂開催 ～

4月28日、「ドリームキャンプ実行委員会」主催の子ども食堂が金光教気仙沼教会で開催され、小学生までの子どもたちと保護者、学生ボランティアなど約30人が参加しました。

子どもたちはゲームや外での遊戯で汗を流したあと、調理スタッフ“乙女の会(被災女性の会)”が心を込めて作った筍ごはんやハンバーグを全員で美味しくいただきました。

「子ども食堂」は、月1回開催しており、家庭の経済的な理由の有無などに関わらず、子どもから大人までが楽しめる居場所づくりとして運営されています。



5/3(木) ～ 復興記念大祭で神輿渡御 ～

5月3日から4日の2日間にわたり、南三陸町歌津地区で計仙麻大嶋神社と三嶋神社の復興記念大祭が、臨時大祭として開催されました。

同祭は高台移転での住宅再建、商店街の本設移転等、復興が進んだことや、三陸道歌津IC供用開始をはじめ、歌津地区神社社務所新築等の記念として行われました。

震災前は4年ごとに行われてきましたが、震災の津波で社務所や神輿、太鼓などが流失しました。震災後、歌津地区に復興支援で訪れた静岡県裾野市石脇区から来たボランティアの地元同名の神社があったことから、住民レベルで交流が始まり、2012年には石脇区の三嶋神社から神輿が贈られました。

当日は三嶋神社を午前9時に出発し、静岡県裾野市の人々が担ぐ神輿と合流後、兄弟神輿として11年ぶりに海上渡御して、震災からの早期復興、家内安全、大漁祈願、所願成就を祈りました。



5/20^日 ～前浜地区の「前浜精義会館」が完成～

5月20日、自治会館である「前浜精義会館」の落成式が行われました。

気仙沼市松岩地域の沿岸部にある前浜地区と母体田地区は、震災等による人口の減少に伴い、平成28年4月、二つの自治会が合併し、新たに前浜精義会としてスタートしました。震災前、二つの自治会は、各々で自治会館を有していましたが、津波で両館ともに被災したため建設を進めていました。新自治会活動の拠点となる「前浜精義会館」の落成式には、来賓や地区の方々をはじめ、多くの関係者が参加し、盛大な落成式となりました。



前浜精義会館落成祝賀会



とびっくす

復興に関連する話題を紹介します

～ 進む震災復興【（仮称）鹿折地区コミュニティセンター】 ～

鹿折公民館は震災前、錦町の総合市民福祉センター「やすらぎ」内にありましたが、東日本大震災により建物が被災しました。公民館機能はその後、平成23年4月下旬に、鹿折小学校の一室を借りて移転し、現在に至っているところです。

（仮称）鹿折地区コミュニティセンターは、従前の鹿折公民館の機能を有した『交流』と、『生涯学習』の2つに視点をおいて、気仙沼市が事業主体となり整備を進めております。

場所は、鹿折土地区画整理事業区域内の、かもめ通り商店街の北東に隣接しており、「やすらぎ」にも近く、市民活動や地区住民の交流拠点としての活用が期待されます。

工事状況



完成イメージ図



整備にあたっては地域住民と打合せを重ね、住民意見を反映しながら計画・設計が進められました。施設は、鉄骨平屋建て、延床面積約998㎡で会議室、和室、研修室、調理実習室、軽運動場、ラウンジ(図書・展示コーナー)等が備えられています。国の復興交付金を活用し工事費は約4億円となっています。

平成29年12月13日に安全祈願祭が行われ、今年秋頃の開館を目指して、現在工事が進められています。

苦勞した点等を気仙沼市教育委員会生涯学習課よりお話を頂きました。

『「交流と生涯学習をより効果的なものとするため、コミュニティセンターの機能をどうしたら良いか」、「住民が希望するのはどのようなものか」など、地域住民との打ち合わせを行って計画等を策定してきましたが、財源やスペースが限られている中での調整なのでとても苦勞しました。』とのことでした。

また、『鹿折地区区画整理内では災害公営住宅の他、商店等も建築されはじめ、徐々に賑わいを取り戻しつつあります。（仮称）鹿折地区コミュニティセンターは、今秋開館予定であり、コミュニティ形成の場として活用して頂けると幸いです。』とのことをお話を頂きました。

◆支所長コラム

GWの暖かさから一転、GW明けは肌寒い日が続き、風邪がはやっているとの噂も聞こえております。皆さまも体調管理にはくれぐれもご注意ください。

さて、5月1日には気仙沼市に復興庁非常勤職員1名が配置されました。5月10日には、市町より第21回の復興交付金事業計画の提出を受けたところです。今後、各種審査会や協議等を経て、6月下旬に交付可能額通知がなされる予定です。

また現在、復興庁では土地活用を促進させるためのモデル調査(①造成地における土地活用 ②津波被災地における土地活用 ③高台移転地における生活サービス維持)を実施する団体を募集しております。今後も様々な形で、市町と一緒に復興を進めてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。(吉)

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【5月27日(日)】 第1回気仙沼観光フェスティバル ～気仙沼市～

海の市と徳仙丈山の2会場で開催される同イベント。海の市会場には特設ステージを用意し、餅まきや郷土芸能、ライブなどが行われる予定です。物産コーナーでは新鮮野菜や海鮮浜焼きなども楽しめます。徳仙丈山へは、海の市からつつじバスが運行されますので、つつじが咲き誇るこの時期に、海と山の両方を満喫してはいかがでしょうか。ホヤぼーやもやってきます！

【10月13日(土)、14日(日)】 東北・みやぎ復興マラソン2018 ～岩沼市、亶理町、名取市～

被災地の“いま”を、継続して日本全国、さらには世界へ発信することを目指すこの大会は、東日本大震災時に浸水したエリアがコースとなっていて、復興の様子を見ながら走ることができます。

メイン会場では「復興マルシェ2018」も開催予定です。応募締切は7月2日！

東北・みやぎ復興マラソン事務局 TEL 022-796-4818 <http://www.hukko-marathon.jp/>

南三陸歌津「伊里前しろうおまつり」

5月13日、ハマレ歌津で、しろうおまつりが開催されました。しろうお(素魚)はハゼの仲間で5cm程度の透明がかった魚で、川に遡上する時に石を積み上げた伝統的な仕掛けで漁獲されます。

しろうおまつりでは、しろうおおどり食い、しろうおすくい、しろうおの吸い物、マグロのかぶと焼きの他、ホヤやメカブの詰め放題やバンド演奏も行われました。

開会の10時前から、しろうおのお吸い物、マグロのかぶと焼きには、長い行列ができ、特に子どもたちはしろうおすくいに夢中で取り組んでいました。捕まえたしろうおを大事に持ち歩く子どもや、歓声をあげながらおどり食いに挑戦していた子供が見られ、春の風物詩として恒例の楽しいしろうおまつりとなりました。

田東山のつつじも見ごろだったので、観光客でハマレ歌津は終日賑わっていました。



新緑もすごく綺麗
だよ。お弁当を持
って行ってつつじを
見ながら食べるのも
いいね♡

～田東山のつつじ～



～徳仙丈山のつつじ～



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>)

→ 宮城復興局 → 気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆桜も散りだいぶ暖かくなってきましたが、まだ炬燵は
しまえません。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310